

# 糸島人

Itoshima Bito



## 子どもの喜ぶ顔が原動力 古希を過ぎても生き生き

おもちゃ病院伊都国 代表

波多江 保彦さん(波多江/73歳)

波多江さんは元電機メーカーの技術者。他のメンバーと連携しながら特技を生かして地域に貢献、それがみんなの生き甲斐になっている。

市内の公共施設やイベントなどで、子どもたちが持ってきた壊れたおもちゃを、その場で無償修理する活動を続けている人がいる。おもちゃ病院伊都国代表として、メンバーを牽引する波多江保彦さんだ。

糸島で生まれ育ち、学生時代から約50年間で東京で暮らし、現役時代は某電機メーカーの技術者として商品開発など最前線で活躍。退職後の平成17年に帰郷してからは福岡市内でもおもちゃ病院に参加し、糸島でもやって欲しいとの声に応えて、平成19年にボランティア団体おもちゃ病院伊都国を設立した。

設立当初は4人だったメンバーも、今では男性19人・女性6人(平均年齢64歳)になり、木工・電気・機械・裁縫などの得意分野に応じて、さまざまなおもちゃの修理に取り組んでいる。「おもちゃの種類や壊れ方は千差万別で、技術資料や専用の修理部品も無い

ため、知恵と手を出し合っている、故障原因を突き止めて工夫しながら修理するのが醍醐味」だという。

新聞やテレビの報道で知名度も上がり、昨年は約370個のおもちゃ修理を手がけた。最近では、おもちゃ修理から発展したユニークな事業を展開している。1つは、生徒が家から持ち寄った壊れたおもちゃを自分で修理する体験学習の支援。これまでに小中4校で5回行い、好評だったので、今後も希望校を募って継続していくという。もう1つは、家庭で眠っている



おもちゃ修理体験学習(一貴山小学校4年生)の様子

おもちゃを集め、点検整備して育児施設や福祉施設に寄贈する「おもちゃ箱」活動や不要なおもちゃをポイントに交換して、他の子どもが持つてきたおもちゃと交換する「かえっこ」との協働にも力を入れている。

これらの活動が子どもたちの健全育成・環境意識の啓発・高齢者の生き甲斐作りに貢献していると認められ、平成22年に福岡県の※1市民教育賞(地域社会教育賞)、今年の10月には※2ふくおか共助社会づくり表彰の地域貢献活動部門賞を受賞した。生き返ったおもちゃを手にしたときの子どもの笑顔が原動力に、これからも波多江さん率いるおもちゃ病院メンバーは糸島各地を駆け巡る。

※1 後進を育てる事に情熱をもって地道に取り組んでいる方々を表彰

※2 新たな共助社会の実現に向けて、他の模範となるような社会貢献活動を表彰

問い合わせは、おもちゃ病院伊都国 ☎080(8390)8154まで